

令和6年度事業中間報告

1) 普及活動の充実

①企画展等の開催（定期展示会開催事業）

- ◆名称 令和6年度企画展「パレオパラドキシアの研究室」
 期間 4月2日（火）～12月27日（金）
 概要 令和5年度に開催した展示を継続して行う。令和6年3月までに得られた成果を展示に反映する。
 来館者 13,789名（9月末時点）

②講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開催日 毎月1回

定員 半日コース：30名、一日コース：20名

参加費 半日コース 500円 一日コース：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
 開催日 5月25日（土）、11月30日（土）
 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
 定員 10名 参加費 1,500円

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
 開催日 7月25日（木）、26日（金）、8月10日（土）
 時間 9時30分から15時30分
 定員 20名 参加費 2,000円
 講師 川瀬基弘氏、片田はるか氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、当館学芸員

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与する。
 開催日 8月11日（日）

- 時 間 9時30分から15時
 定 員 10名 参加費 1,500円
 講 師 安藤佑介（当館学芸員）
- ◆名 称 パレオパラドキシアを復元しよう ※新規講座
 概 要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラストで肉付けを行う。
 開 催 日 8月17日（土）
 時 間 13時～15時
 定 員 20名 参加費 1,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けする。
 開 催 日 8月18日（日）
 時 間 9時30分～11時30分
 定 員 20名 参加費 1,500円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（応用編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
 開 催 日 8月18日（日）
 時 間 13時～15時30分
 定 員 15名 参加費 2,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 化石検定
 概 要 令和5年にミライ創ろまい課がプレテストを行った化石検定の本試験を行う。試験後は監修した講師による講演会を行う。ミライ創ろまい課と共催イベントとする。
 開 催 日 10月19日（土）
 時 間 13時～15時 場 所 瑞浪市総合文化センター3階講堂
 定 員 100名 検定料 無料
 講 師 木村由莉（国立科学博物館）、大路樹生（名古屋市科学館）、服部創紀（福井県立大学）、相場大佑（深田地質研究所）
 ※大路氏、服部氏、相場氏はオンラインで参加

- ◆名称 小さなほ乳類化石を探そう！
 概要 高知県の洞窟から採集した堆積物から小さなほ乳類の化石を探し、標本作成を通じて化石の観察法などを学ぶ。
 開催日 10月20日（日）
 時間 9時30分～11時30分
 定員 20名 参加費 1,000円
 講師 木村由莉（国立科学博物館）

- ◆名称 コハクの原石を磨こう！
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
 開催日 11月24日（日）
 時間 10時から12時、13時から15時
 定員 各回20名 参加費 1,000円
 講師 当館学芸員

③博物館実習生の受け入れ

- 概要 7月下旬に延べ6日間、実習生1名（愛媛大学理学部）、10月中旬から下旬に延べ7日間、実習生1名（名城大学農学部）を受け入れた。

④学校等教育機関との連携（来館・化石採集対応） ※太字が市内学校

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	日吉小学校3年生	4月25日	17名	化石採集
2	陶小学校3年生	5月10日	14名	展示解説
3	土岐小学校6年生	6月6日	49名	化石採集
4	名古屋市立向陽高校	7月31日	27名	化石採集、博物館見学
5	麗澤瑞浪高校1年	9月27日	52名	展示解説

⑤出前授業・講演会・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

- 概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。4月に教頭会、理科部会で宣伝を行った。

- 開催日 要望があった場合は随時（要予約）
 講師 当館学芸員
 対象 小学4年～中学3年

2) 資料の充実と調査・研究

①資料の閲覧

	申請者・所属	閲覧日	資料名・数量
1	伊藤颯真・高知大学	6月26日	<i>Latena minoensis</i> ・2点

②資料の貸し出し

	申請機関（または申請者・所属）	閲覧日・貸出期間	資料名・数量・目的
1	長野市立博物館分館信州新町化石博物館	6月27日～11月20日	デスモスチルス頭骨レプリカ・1点・企画展で展示するため

③調査・研究事業（定期研究報告刊行事業、化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究（継続）
（担当：安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトのうち、軟骨の研究、産状の研究を国立科学博物館、東京都市大学と共同で実施）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、継続中）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）
- ・9月末までに下記論文が出版された。
 - ・Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, D. Audo, S. Charbonnier, R. H. B. Fraaije, O. D. Frantescu, M. Hyžný, H. Karasawa, A. A. Klompmaker, J. Luque, C. M. Robins, F. R. Schram, G. Schweigert, and D. Tshudy. 2024. Part R, Revised, Volume 1: Generalized External Adult Decapoda Morphology. *Treatise Online* 179.

④展示資料等の購入（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・研究用書籍：Fossil Decapod Crustacea in the historical collections, Tropical Deep-sea Benthos を購入。

⑤古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。9月末までに5,653点が登録された。

⑥化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和6年度は研究報告第51巻の公開を行う。現在までに7編（日本2編、イギリス2編、アメリカ2編、スペイン1編）の論文の投稿・公開がなされており、公開された論文については令和7年3月に冊子媒体で240部出版する予定である。

⑦報道発表、広報への記事掲載

これまでにパレオパラドキシアの調査報告書(研究報告第50巻3号)刊行、化石検定に関する情報提供を行った。広報みずなみには「みずなみ化石ナビ」の記事を4月号（みずなみ化石教室のご案内）、6月号（パレオパラドキシアについてわかったこと、その3）、9月号(パレオパラドキシア骨格の復元)、10月号（みずなみ化石フェスタの広報）に掲載した。

3) 化石博物館施設及び展示室の改修について（化石博物館改修事業）

化石博物館老朽化に伴う施設改修工事である①雨漏り対策、②電気設備更新を行う。改修工事は、令和6年10月末～令和7年1月に実施予定である。12月末～2月は停電を伴う工事と展示改修を行うため、休館する。

4) 展示室の改装について（パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本展示事業（市制70周年記念））

令和6年10月にパレオパラドキシア復元骨格、復元画、復元模型が完成し、国民文化祭にてお披露目した。今後、休館中の令和7年1月～2月に展示室を改装し、これらを展示する。主な改装内容は、①地図コーナーを撤去し、そこにパレオパラドキシア復元骨格を復元画などとともに展示、②地質年代表周辺を改装し、ミニ展示コーナーを作る、である。

5) 国民文化祭について（化石フェスタ開催事業（「清流の国ぎふ」文化祭））

令和6年10月より岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024（国民文化祭）で、「みずなみ化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～」を開催中である。釜戸町で発掘されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格に加え、福島県、埼玉県、岡山県で発掘されたパレオパラドキシアの復元骨格を瑞浪市総合文化センターで展示している（令和6年10月19日（土）～10月27日（日））。併せて、10月19日(土)に専門研究者による展示解説会を開催した。10月27日(日)には見学ツアー、座談会を開催予定である。

資料

令和6年度入館者数 (人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	5年度	比較
4	829	647	127	50	1,653	1,711	-58
5	2,243	1,262	102	64	3,671	3,900	-229
6	792	510	164	186	1,652	1,217	435
7	873	666	87	107	1,733	1,755	-22
8	1,517	1,253	127	199	3,096	3,724	-628
9	1,142	669	44	129	1,984	1,663	321
合計	7,396	5,007	651	735	13,789	13,970	-181

令和6年度野外学習地利用者 (人)

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	5年度	比較
4	280	965	8	153	288	1,118	545	573
5	414	1,409	7	199	421	1,608	2,001	-393
6	161	475	8	387	169	862	489	373
7	143	455	6	141	149	596	687	-91
8	213	711	6	202	219	913	1,288	-375
9	145	500	3	63	148	563	744	-181
合計	1,356	4,515	38	1,145	1,394	5,660	5,754	-94

令和6年度みずなみ化石教室参加者 (人)

半日コース		一日コース		上級コース	
定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月28日	32	4月28日	20		
5月12日	31	5月12日	19	5月25日	7
6月9日	24	6月9日	19		
7月14日	26	7月14日	18		
9月8日	14	9月8日	18		
合計	127	合計	94	合計	7

令和6年度各講座受講状況 (人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編	7月25日	18	20
化石マイスター養成編	7月26日	14	20
化石マイスター養成編	8月10日	21	20
化石マイスター認定編	8月11日	9	10
パレオパラドキシアを復元しよう	8月17日	21	20
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月18日	20	20
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月18日	12	15
合計		115	125

令和6年度予算 (千円)※補正予算含む

科目	6年度予算	5年度予算	比較
化石博物館事務経費	2,046	1,592	454
化石博物館施設管理経費	7,128	7,918	-790
定期研究報告発行事業	1,465	1,160	305
定期講座開催経費	840	912	-72
化石博物館定期展示会開催事業	0	148	-148
化石博物館改修事業	39,000	2,640	36,360
化石博物館資料収集・備品等購入経費	270	244	26
パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業	37,227	3,996	33,231
国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業	4,998	137	4,861
合計	92,974	18,747	74,227

令和7年度事業計画について（案）

1) 普及活動の充実

①企画展等の開催（化石博物館事務経費）

- ◆名称 ミニ展示
- 概要 新設した展示コーナーに広報や論文に掲載された化石を定期的に展示する。年に1～2回実施予定。

②講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
- 概要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開催日 毎月1回

定員 半日コース：30名、一日コース：20名

参加費 半日コース 500円 一日コース 一般：1,000円

- ◆名称 みずなみ化石教室上級コース
- 概要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
- 開催日 5月24日（土）、11月22日（土）
- 条件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
- 定員 10名 参加費 1,500円

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
- 概要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。

開催日 7月24日（木）、25日（金）、8月9日（土）

時間 9時30分から15時30分

定員 20名 参加費 2,000円

講師 川瀬基弘氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、市村駿汰氏

- ◆名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
- 概要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。

開催日 8月10日（日）

時間 9時30分から15時

定員 10名 参加費 1,500円
 講師 安藤佑介（当館学芸員）

◆名称 パレオパラドキシアを復元しよう
 概要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラストで肉付けする。

開催日 8月16日（土）

時間 13時から15時

定員 20名 参加費 1,000円

講師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名称 恐竜の模型を作ろう（入門編）
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。

開催日 8月17日（日）

時間 9時30分～11時30分

開催日 15名 参加費 1,500円

講師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名称 恐竜の模型を作ろう（応用編）
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。

開催日 8月17日（日）

時間 13時～15時30分

定員 10名 参加費 2,000円

講師 徳川広和氏（恐竜模型作家）

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬の1週間、実習生を受け入れる。

④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時（要予約）

講師 当館学芸員

対 象 小学4年～中学3年

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業

(1) 研究

- ・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究（継続）
（担当：安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトのうち、軟骨の研究、産状の研究を国立科学博物館、東京都市大学と共同で実施）
- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）
（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同）
- ・海底洞窟堆積物より産出した十脚類化石
（担当：柄澤、国立科学博物館等と共同、継続中）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討
（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、継続中）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究、継続中）

②展示資料等の購入・制作（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・図書コーナー用図書：恐竜超世界等を購入予定。
- ・研究用書籍：Tropical Deep-Sea Benthos等2冊を購入予定。

③古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

④化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和7年度は研究報告第52号の公開を行う。公開された論文については令和8年3月に冊子媒体で230部出版する予定である。

3) その他

①文化施設再編について

文化施設の再編について、担当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合し、新博物館を建設することについて検討している。全庁的に方向性を協議した結果、“第二ステージ”(サイエンスワールド横の空き地)を候補地とすることが決定し、スケジュールは財政的な面も考慮し、総合的に判断することが決定した。来年度以降は、基本構想等の実施計画を策定する予定である。具体的な建設計画の策定段階で当協議会でも報告する。

資料

令和7年度予算要求(概算)(千円)

科目	7年度予算要求	6年度予算	比較
化石博物館事務経費	2,100	2,046	54
化石博物館施設管理経費	7,150	7,128	22
定期研究報告発行事業	1,400	1,465	-65
定期講座開催経費	800	840	-40
化石博物館改修事業	0	39,000	-39,000
化石博物館資料収集・備品等購入経費	400	270	130
パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業	0	37,227	-37,227
国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業	0	4,998	-4,998
合計	11,850	92,974	-81,124

協議会委員名簿（令和6年4月1日～令和8年3月31日：任期2年）

氏名	所属・役職等	選出区分
加納 礼爾	明世小学校長	学校教育関係者
吉田 英一	名古屋大学博物館 館長・教授	学識経験のある者
松岡 敬二	豊橋市自然史博物館ミュージアムアドバイザー	学識経験のある者
中山 京三	瑞浪市サッカー協会理事	社会教育関係者
西尾 京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者